



注意事項

- 製品の取扱
- 製品の保管
- 油の付着
- 施工時

破損の原因となりますので、製品を投げないで下さい。
製品を長期間保管する場合には、直射日光を避けるためシート等を被せて下さい。
製品に有機溶剤や油が付着すると、強度の低下を招く事がありますのでご注意下さい。
組立作業中に製品の上に乗る際には、足下にご注意下さい。



禁止事項

- 破損品の仕様
- 火気の使用
- 製品の加工
- 法令違反
- 過積載

破損した製品は、絶対に使用しないで下さい。
製品は可燃性ですので、保管・施工時ともに火気厳禁として下さい。
穴あけや切断など製品の後加工は強度の低下を招きますので、お止め下さい。
施工に当たっては関連法規・条例などを遵守して下さい。
設計荷重の範囲内での荷重条件下で、ご使用下さい。

★ 製品の改良や品質向上の為、製品の仕様や寸法など
事前の予告なく変更する事が御座いますので予め御了承下さい。

簡易仮設道路に求められる
施工性、経済性、環境負荷低減を兼ね備えた

プラロード

Temporary Road Systems for the soft ground

PLAROAD



ヒロセ技研株式会社

本社/本店

〒542-0081 大阪市中央区南船場1丁目17番11号(上野BRビル2F)
TEL (06) 6264-7370(代) FAX (06) 6264-7233

東京支店

〒135-0016 東京都江東区東陽2丁目2番4号 (マニユライフ プレイス東陽町3F)
TEL (03) 5677-3266 FAX (03) 5677-2036

名古屋支店

〒460-0003 名古屋市中区錦2丁目19番1号(名古屋鴻池ビルディング 12F)
TEL (052) 209-6858 FAX (052) 209-6859

九州支店

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2丁目12番12号 (第5グリーンビル4F)
TEL (092) 434-1281 FAX (092) 434-1284

ホームページ

<http://www.hirose-giken.co.jp>

農耕地や 歩行が出来る程度 軟弱地盤に 最適な簡易仮設道路システム

急速施工 部材がプラスチック製の為に軽く、設置作業が人手で簡単にしかもスピーディーにできる上、敷設作業が終了すれば、直ちに道路解放が出来て工期短縮に繋がります。更に撤去も全く手間が掛からず、現状復帰が出来ます。

残材処理が楽 農耕地を借地し、従来工法で仮設道路を構築した場合時として工事終了後に現状復帰しても、混ざり合った土砂や採石、廃材等が完全に除去出来ず、後日その事で地権者と思わぬトラブルとなったりもするのですが、しかしプラロードはこれらの資材を全く使わないので、トラブルを未然に防止出来ます。

高強度 荷重分散構造をした本体ユニットを更に千鳥配置にする事で、安心の安定構造となり、大型ダンプトラック、50tラフタークレーンの走行が可能、しかも軟弱地盤であっても極端な現状地盤の沈下や圧密を防ぐ事が出来ます。

施工評価 NETIS登録により、国土交通省の総合評価型入札に有利です。ARIC登録により、農林水産省の農業農村整備民間技術情報データベースで検索出来ます。

【施工中の状況】

- ①墨を出し土木安定シートを敷設 ②2段目以降、上載の向きを90度回転 ③最上段にスペーサーを設置



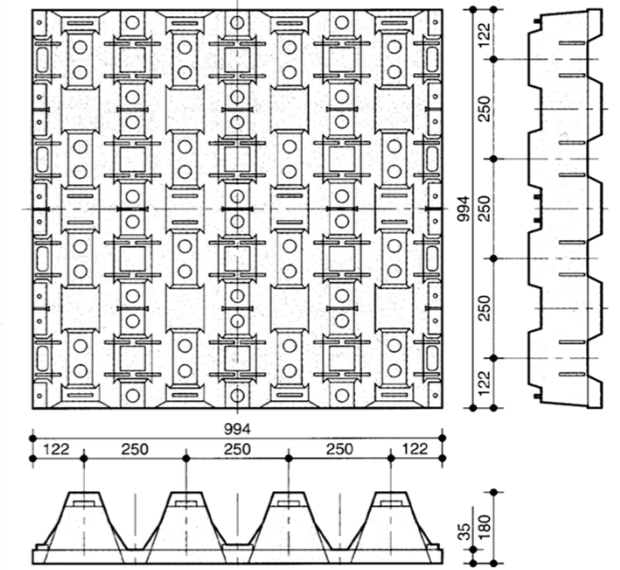
【施工完成】 敷鉄板で養生



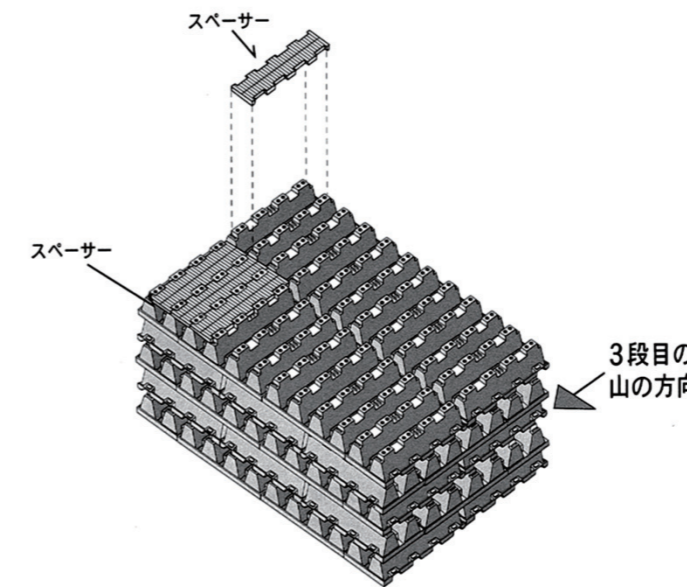
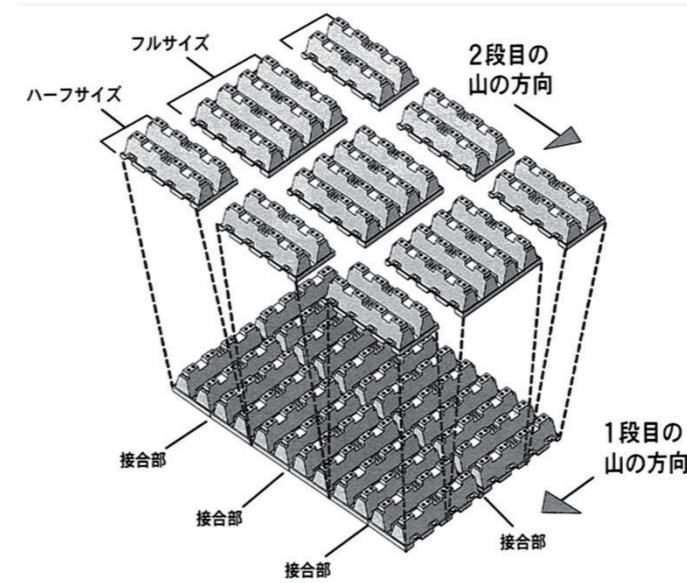
軟弱地盤に馴染んだ状態

製品概要

品名	フルサイズ	ハーフサイズ	スペーサー
寸法 (mm)	994x994xH180	994x494xH180	993x246xH45
質量 (kg)	6.5	3.3	1.4
鉛直方向許容応力	90 (kN/m ²)		
材質	再生ポリプロピレン		



組立方法



① 土木安定シートは、水捌けの促進と、不陸の影響を少しでも緩和し接地圧力の分散を行う為に透水性シートを全面に敷き詰めます。

② 本体には、フルサイズとハーフサイズの2つの部材があり、特に接合材も有りません。まず、一段目を配置する際には、設計図に基づき底面シートの上に墨出しを行い、製品の山の並びを全て同じ向きになるように揃えて配置します。またハーフサイズはフルサイズを補う部材として外側の列に端尺調整材として配置して利用します。

③ 一段積み毎に、部材を90度回転し重ねるだけで簡単に施工出来ます。特にここでは接合目地が芋目に成らない様に積み重ねる際には、下段の接合部を跨ぐ様に上段の部材を敷設します。

④ 所定の段数を積み重ね、一番上の段の上にプラスチック製グレーチングのスペーサー部材を取付けます。

⑤ 途中、今迄の作業全体を再確認し、しっかりと部材が吻合しているか、又は通りが揃っているか十分に点検する。もし不都合があれば修正します。(ここまでは軽いので人力での修正が可能)

⑥ 最後にスペーサー部分の上に、敷鉄板を重機を使って架設して行き、終了します。

⑦ 設置直後に不陸が残っていても、軟弱地盤で有れば、道路開放後僅かの期間で安定します。



プラロード供用後 撤去状況
従来工法に比べ、圧密沈下が小さい。
また、現場用地に残材を取りこぼす事が少ない。

⑧ 撤去は簡単に設置手順の逆を行えば終了。後には何も残りません。撤去直後の跡形がハッキリと効果が判る！